



2学期をふりかえって

校長 山下靖雄



持久走大会から 11/30

酷暑の夏を終え、残暑が厳しい中スタートした2学期の教育活動もあと20日あまりで終える時期を迎きました。この2学期は、10月の夏休み、11月の音楽会、12月の持久走大会と全校児童が様々な活躍を見させてくれた大きな学校行事が続きました。それぞれが1学期までに習得した力を、しっかりと発揮して稔りある行事となりました。こうした節目、節目の大きな行事に向け、しっかりと自分の力を伸ばしていくのが本校の子供たちの素晴らしいところであることを実感しています。子供たちの振り返りの感想を読んでいくとさらにその充実ぶりや自身の力の伸びを実感している様子が伝わってきます。

日々の授業での学びが大前提にあるのは揺るぎのないところです

が、こうした大きな行事は自分自身の力に加え、保護者の皆様からの温かな励ましが後押しをしてくれることも忘れてはいけないと思っています。これからもそれぞれの力の発揮に保護者の皆様からの大きな、そして温かい拍手と励まし声掛けをお願いいたします。また、各行事については運営上の課題を保護者の皆様からいただいた声を参考にさせていただき、よりよいものへと改善に努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を目指して

～校内研究「体育科」の実践から～

以前からお伝えをしているように、本校では今年度、研究主題を『子どもが自ら楽しく学ぶ体育学習～主体的・対話的で深い学びの実現と教師の指導観の転換』として研究を進めています。同時に区教育課題実践推進校の指定を受け「体力の向上」を課題とした研究を進めています。これまで5年生「ポール運動 ソフトバレーボール」、4年生「ベースボール型ゲーム」、2年生「水遊び」、3年生「走・跳の運動」、6年生「マット運動」の授業研究を実施してきました。これらの実践の中で我々が注目したのは「個々の子どもの学び」です。子どもたちは皆、それぞれが自分の力や興味・関心に応じた課題（本校ではこれを「学習課題」といいます）を見いだし、自らその解決にあたる学習を試行錯誤しながら、友達と協力して進め、より確かな知識や技能、思考力・判断力・表現力、豊かな人間性などの資質能力の獲得につなげていっています。ICT機器を全ての学年で活用、（Padlet:パドレットというアプリを活用しています）学習記録（ログ）を残しています。そこには自身の運動の際の動画や振り返り、次に見いだした学習課題についてなどが記載されており、個々の子どもの学びの足跡をたどっていいくことができます。我々教師はその振り返りを見つつ、授業中の様子をたどりながら、個々の子どもが今必要としている指導をしっかりと行うことが先に挙げた「個別最適な学び」の重要なポイントとなることを確認しています。先日行われた6年生の「器械運動～マット運動」の実践から子どもの学びの振り返りを紹介します。子どもの成長、学びに私たちも教えてもらうことがあります。

【學習課題】

【子問題選】
後転：まっ直ぐに転がる。後転ができるために何が必要なのかをお手本動画や自分の動画を見て考える。
(振り返り)

凄いできるようになりました！斜めにもいかないで真っ直ぐ行けてフォームも崩さずにやりぬけた。理由は①動画をとつてもらいお手本と比べた②友達からアドバイスをもらった③顎を引き空気椅子をキープした。特にお手本動画と同時再生するのが一番わかりやすかった。次は坂道でない普通のマットで後転を成功させる！！

【尚羽謹題】

【字習課題】
開脚前転ができるようにする。回ってから足を開くのと、開いた後かかとだけつけるのではなく、足の裏全体をつけて立つことを意識する

今回も開脚前転をしました。立ち上る時はできなかったけど新しいポイントを見つけました。立ち上がる時頭を下に向けることで少し立てそうになりました。なので、あとは手で思い切り押せば立てると思ったのでチャレンジしてみます。

音楽会

11月17日(金)・18日(土)の2日間、本校で6年ぶりとなる音楽会が開催されました。「奏でよう とどけよう わたしたちのハーモニー」をテーマに、1日目は児童鑑賞日として、2日目は保護者鑑賞日として、各学年の発表が行われました。

コロナ禍を挟んだため、現1～6年生の誰も経験したことのない音楽会でした。学年みんなでどのようにして音を合わせるか、声を響かせるか…仲間同士で教え合い、たくさんの練習を重ねました。異なる音を合わせ、協働して一つの楽曲を作り上げるという経験を通して、一人一人が「聴く人の心に響く音」を見付けたり、「自分らしさ」を表現したりすることができたと思います。

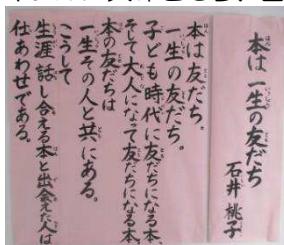
多くの保護者の皆様、地域の皆様にご鑑賞いただき、子供たちにとって大きな成長につながる音楽会となりました。練習期間中の励ましや、本番でのあたたかい拍手をありがとうございました。

文化的行事委員会 西川寛幸



読書月間

本校では、10月30日から11月30日までを読書月間とし、様々な取り組みを行ってきました。「本は一生の友だち」を昇降口に掲示し、読書への啓発を行いました。また、昨年度好評だった「先生方のおすすめの本紹介」をよりパワーアップして、動画だけでなくポスターも制作しました。図書委員会では、みんなが図書室に行きたくなるきっかけとして、「ジャックと木の本のスタンプラリー」や「おすすめの本紹介やクイズ、動画」についても舞台発表したり、図書室前に掲示したりと読書月間を盛り上げました。1～3年生に向けては、図書委員による読み聞かせも行っています。今年度初めての試みとして、クラスで最も本を読んだ人を「多読賞」として表彰しています。これを機に、新たなジャンルに興味をもち、普段は読まない本を手に取るなど、読書の幅を広げていってほしいとねがっています。



1年生の様子

2学期になり、国語の学習とリンクしながら、1年生でも読書科の学習が始まりました。本を使って調べ学習を進めていくのですが、今までに生き物の体の特徴を調べてクイズにしたり、乗り物の役割・仕組み・働いている様子などを調べてまとめたりしてきました。出来上がった作品を見ると、4月にはひらがなの読み書きを学習していたというのに、ものすごいスピードで成長していることを実感します。個人面談の期間に、乗り物図鑑は廊下に掲示していますのでぜひご覧ください。



掲示されたクイズをめくって楽しんでいます。



本を見ながら文や絵をかき、みんなで乗り物図鑑を作っています。